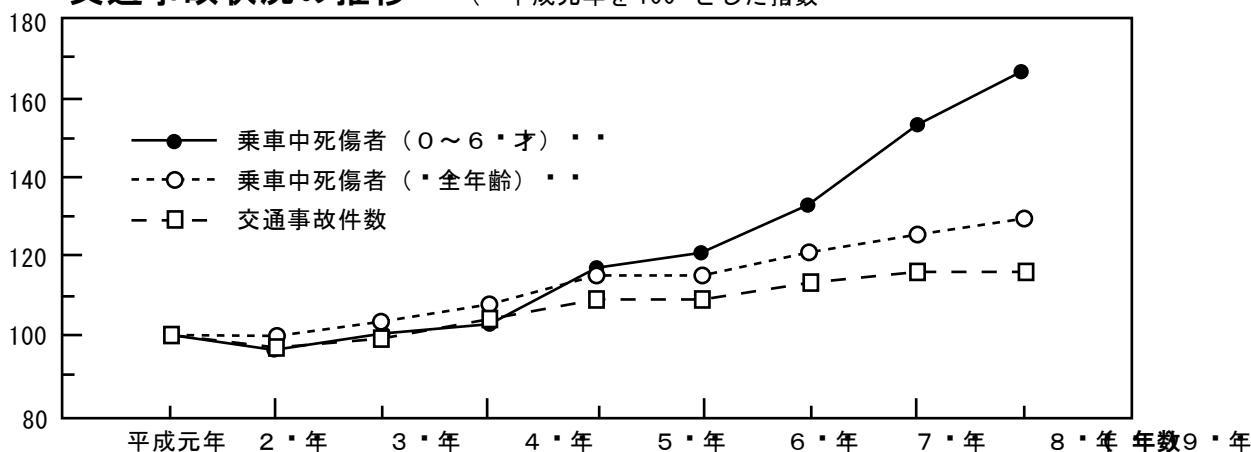


チャイルドシートはあなた の子供の生命を守ります。

着用は大人の責任です！

★ 交通事故による乗車中の死傷者のうち最近では6歳以下の子供が急増しています。

交通事故状況の推移 (平成元年を100とした指数)



★ チャイルドシートを着用しなかった時の死亡率は、着用していた時に比較すると8倍、重傷率は3倍です。

	被害者数(人)			被害率(%)	
	死傷者	重傷者数	軽症者数	致死率	重症率
チャイルドシート着用	1	22	2,755	0.03	0.82
チャイルドシート非着用	74	644	29,695	0.24	2.36

※致死率 = 死者数 / (死者数 + 重傷者数 + 軽傷者数) × 100 (%)

※重傷率 = (死者数 + 重傷者数) / (死者数 + 重傷者数 + 軽傷者数) × 100 (%)

★たとえば10kgの赤ちゃんを抱き時速50kmで壁にぶつかった時、約300kgの衝撃が加わります。大人がどんなに強く抱きしめていても支えることはできません。

★チャイルドシートの使用上の注意事項

チャイルドシートは、その選択や使用方法を誤ると、効果がなくなるばかりか逆に被害を受ける可能性がありますので、次の注意事項に特に注意してください。

①チャイルドシートの選択

乗車する子供の体格（体重）に合ったものを選ぶこと
（使用する自動車に確実に固定できるものを選ぶ）



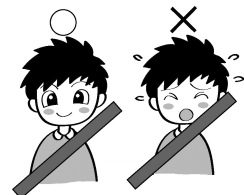
*乳児用ベッド
(ベビーシート)・・・
体重 10 kg未満
年齢 0～12ヶ月程度



*幼児用シート
(チャイルドシート)
体重 7 kg～18 kg程度
年齢 6～4歳程度



*学童用シート
(ジュニアシート)・・・
体重 15 kg～32 kg程度
年齢 4～10歳程度



車のシートベルトが、顔やあごにあたる場合は、学童用シート（ジュニアシート）が必要です。

(*)は一般的な呼称。上記の体重、年齢はめやすです。
各製品で適用範囲は異なります。

日本自動車工業会資料より引用

②チャイルドシートの座席への取り付け

チャイルドシートのベルトの取付位置などを子供の体格に合うように調節し、シートベルトで正しく固定して使用すること（チャイルドシートの取扱説明書に記載されている取付方法によること）。

*助手席にエアバックのついている自動車を使用する場合は、できるだけ後部座席に取り付ける。

*やむを得ずエアバックの付いている助手席で使用する場合には、座席を一番後ろまで下げ、前向き用チャイルドシートを必ず前向きに取り付ける。

③チャイルドシート着用の際の確認

子供をチャイルドシートに座らせ、そのベルトなどを正しく着用後、バックルなどが確実に差し込まれていることを確認すること。

④チャイルドシート着用中の注意

必ず保護者の同乗の下で使用し、子供を乗車させたまま自動車から離れないこと。

★チャイルドシート着用は小さな時からの習慣化が大切です。